

商船系 5 高専と人材確保タスクフォースの連絡会を開催

日本船主協会では 2008 年 7 月より「人材確保タスクフォース (TF)」を結成し、優秀な日本人船員確保のための広報活動を展開しております。

この度、2017 年 11 月 29 日 (水) に関連教育機関のうち、商船学科を持つ国立高等専門学校 (高専) 5 校との連絡会を開催しました。

人材確保タスクフォースは発足以降、毎年商船系 5 高専 (広島商船高等専門学校、富山高専高等専門学校、弓削商船高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、大島商船高等専門学校) との間で、定期的に TF の活動や高専の現状について意見交換を行っています。今年度は 2017 年 11 月 29 日 (水) に連絡会を開催しました。

連絡会には商船系 5 高専のほか、当協会 TF メンバー会社 6 社が出席しました。初めに、事務局が 2008 年から始まった合同進学ガイダンスの 10 年間の総括を行うとともに、2017 年度の実施結果を報告しました。その後、合同進学ガイダンスやその他事業の今後の実施方針について話し合いました。

各校からは、受験人数が増加しただけでなく、県外からの受験者が増えたことが、合同進学ガイダンスの 10 年間の大きな成果として挙げられました。5 校合同で行うことが大きな意義を持つとして、当ガイダンスの重要性が共有されました。

来年度は、ガイダンスの開催形式を検討しながら実施を継続すること、またその他行事への協力も検討していくこととなりました。

当協会の人材確保タスクフォースでは、今後も優秀な日本人海技者確保に向け、関連機関と協力して幅広い活動を継続していくこととしています。



連絡会の様子



議論を取りまとめる磯田副会長 (TF 座長)